



# 新深谷探検

## 公園を

### 紹介します

深谷市には、変わった自転車やミニS Lなどの乗り物、ローラー滑り台やアスレタワなどの遊具が満載の、小さなお子さんが楽しめる公園があります。

今回は、そんなミニ遊園地を紹介します。ご家族おそろいでお出かけください。

## 深谷の魅力



### 渋沢栄一翁を育んだふるさと(八基地区)

深谷市街から県道伊勢崎深谷線を北に向かい、小山川に架かる共栄橋に差し掛かると、北の赤城山から西の浅間山そして秩父の山々が一望できる雄大な展望が広がります。ここは日本近代経済社会の父と呼ばれる渋沢栄一翁の故郷・八基地区の入口です。

この「八基」の名前は、8つの旧村が合併して、栄一翁が、八州(日本)の基になるように、と願い名付けたことあまり知られていません。



### 川本サングリーンパーク

開園：平成2年  
 広さ：約3.5ha  
 主な施設：変形自転車、バターゴルフ、アスレタワ、さくら鉄道、パーベキューコーナーなど  
 583 - 5611  
 川本サングリーンパーク



### 仙元山公園遊園地(わんぱくランド)

開園：平成9年  
 広さ：約1.6ha  
 主な施設：変り種自転車、バッテリーカー、ローラー滑り台、カート広場、ミニS L、ふわふわドームなど  
 575 - 2900  
 わんぱくランド



旧渋沢邸「中の家」

旧来の価値観にとらわれず、優れたものを率直に吸収する栄一翁の気質がわがまちの風土で育まれたことは、注目すべきことです。

この地区には、栄一翁とその

## 深谷のことをもっと知ろう!

時代をしのぶ文化財などが現在でも多く残されています。

埼玉県指定旧跡「渋沢栄一生地」には、明治28年に再建された「中の家」があります。屋根に天窓を持った主屋と土蔵からなる屋敷は、藍玉作りや養蚕が盛んだったこの地の農家の姿を伝えます。栄一翁が帰郷したときに滞在した部屋も見ることができます。

徒歩5分ほどの南には鎮守の諏訪神社があります。この社殿は、大正5年、栄一翁が喜寿(77歳)の年に寄進したものです。少年のころは自ら舞い、晩年には必ず帰郷して少年役者をねぎらった「血洗鳥獅子舞」ほかの獅子舞(いずれも市指定文化財)が、10月17日の祭礼の日を中心に舞われています。

「尾高惇忠生家」は、いこで10歳年上の惇忠に漢学を習いに通った場所です。青年期には、尊皇攘夷運動に傾倒した栄一たちが激論を交わした舞台となりました。

現在、渋沢栄一記念館の北側を中心とした一帯を青淵公園とする整備が進められています。



尾高惇忠生家 (邸内は公開されていません)



「渋沢栄一生地」などの所在地 深谷市血洗鳥247番地1、下手計など

いずれ、栄一翁の邸宅があった東京・飛鳥山のような市民の憩いの場所になることでしょう。故郷のゆかりの史跡はまだあるのですが、これからは、実業界での姿とは異なつた栄一翁の横顔が垣間見えてきます。

### わんぱくランド情報

ゴールデンウィーク限定 イベント開催

わんぱくランドでは、5月5日・6日・7日の3日間に限り、イベントを開催します。

成功すればすてきなプレゼントがもらえるチャレンジゲーム(大人も参加できます)や特設遊具(ともに有料)など普段とは違う遊具が楽しめます。

また、期間内にお得な回数券(500円で550円分)をお買い上げのかた、各日先着100名様にお菓子の詰め合わせをプレゼントします。ぜひ、ご家族そろって遊びに来てください。



チャレンジゲーム(イメージ)